

**令和6年度  
地域創生総合支援事業  
(サポート事業)  
南会津地域取組事例集**

**令和7年8月  
福島県南会津地方振興局**

## 実施事業一覧

### 【一般枠】

- (1) 生業創出をめざすむらと都市の共生戦略－コロナ後の生活様式変革を見据えて－
- (2) 只見米を活用した地域活性化事業
- (3) しもごろーカードを活用した新しい軽トラ市
- (4) 大学生サミット2025in南会津
- (5) 南会津の森林活用&リハビリテーションプログラム開発事業
- (6) 里山滞在型リゾート事業
- (7) 自然資源を活用した地域創生事業(開墾再活性プロジェクト)

### 【市町村枠】

- (8) 八十里越交流事業
- (9) 「自然首都・只見」モンベルと連携したエコツーリズム推進事業
- (10) チームビルディングツーリズム事業
- (11) ここに住んでよかった・住んでみたいと思えるまちづくり事業
- (12) ビギナー戦略推進事業

### 【過疎・中山間地域活性化枠(集落等活性化事業)】

- (13) みんなで心豊かに、安心して住み続けられる集落(むら)づくり事業

### 【過疎・中山間地域活性化枠(収益事業(スタートアップ支援事業)】

- (14) ヒツジ等で里山づくり&地域活性化事業
- (15) 体験型交流カフェ民泊で関係人口拡大&地域活性化事業

# (1) 生業創出をめざすむらと都市の共生戦略 ーコロナ後の生活様式変革を見据えてー

【実施主体】 針生「むらの底力」協議会(南会津町)

Instagramアカウント:「南会津針生」@haryu\_field

## 事業の目的

耕作放棄地の増加や地域の活力低下が課題となっている南会津町針生区において、集落内の森林や耕作放棄地を整備・活用することで、景観の美化、観光誘客を図る。

## 令和6年度の事業内容

- 耕作放棄地の再生に向けた取組:対象田畑の集約管理、景観の再生
- 荒廃森林の再生に向けた取組:放置森林の集約管理、トレッキングコース造成、ホーストレッキング体験(11月実施。参加者数:10名)
- 集落協議会の体制強化:集落におけるキーマンの参画、コーディネーター登用
- プロモーションの実施

(単位:千円)	R4	R5	R6
総事業費	5,354	4,579	3,433
補助金	4,015	3,402	2,364

〈放置森林の整備〉



〈ホーストレッキング体験〉



## 事業を実施したことによる成果

- ・放置森林を把握し、森林整備やトレッキングコースの造成を行ったことにより、利活用の推進が図られた。
- ・集落協議会について、集落のキーマンとの協力体制を構築したことで、よりスムーズな事業実施が図られた。

## 今後の展望

- ・次年度以降は、空き家を旅行者向け滞在施設として活用することで財源を確保し、自走する。
- ・ホーストレッキング等のコンテンツを活かし、インバウンド誘客を進め、旅行商品として売り出していく。
- ・引き続き、耕作放棄地の集約管理や景観再生の取組を進める。

【実施主体】 只見米ブランド協議会(只見町)

只見米ブランド協議会ホームページ ▶ <https://tadamirice.studio.site>

## 事業の目的

お米のふるまいのイベントを只見駅前で開催し、只見産米の魅力PR及び只見町への誘客促進、地域活性化を図る。また、只見産米を活用した地域活性化に関する意見交換会を実施することで、町民の地産地消に対する意識醸成を図る。

## 令和6年度の事業内容

〇お米のふるまいイベント「只見米フェス」の開催(10月26日実施、来場者約600名) JA及び町イベントと併催により実施した。ライシーホワイト(県産米をPRするキャンペーンクルー)をゲストに招き新米の食べ比べを行うブースや、地元高校生が考案した料理のふるまいを行うブースなどを準備。また、ポン菓子や米等の販売を行うことで、来年度以降のイベント実施自走化に向けて準備を行った。

(単位:千円)	R4	R5	R6
総事業費	843	517	387
補助金	562	327	240

## 事業を実施したことによる成果

- ・イベントには約600名の来場があり、町民及び紅葉や只見線を目的にきた観光客に只見米をPRできた。
- ・只見高校生考案レシピのブースや子どもブースの設置、ステージイベントのバンド演奏などで若い世代の人たちにも足を運んでもらうことができた。

## 今後の展望

運営資金として参加者に参加料をもらうようにするなど、今後イベントを継続して実施できるよう工夫し、引き続き只見米の認知度の向上及び地域活性化を図る。

〈只見米フェス①〉



〈只見米フェス②〉



【実施主体】 下郷町商工会(下郷町)

下郷町商工会ホームページ ▶ <http://shimogo-sk.or.jp/>

事業の目的

人口減少や少子高齢化の進行により、町のインフラである商店街等の機能低下が課題となっている下郷町において、商工会と町が連携して実施するポイントカードシステム「しもごろーカード」を活用した軽トラ市及び加盟店ポイントラリーを開催し、商店街機能の維持及び地域活力の向上を図る。

令和6年度の事業内容

- しもごろーカードと連携した軽トラ市の開催(①9月14日、②10月12日)
- 軽トラ市ポイントラリーの開催(①8月7日～9月14日、②9月18日～10月20日)
- ポイントラリーボーナスポイント等引換(①9月14日～21日、②10月12日～28日)
- 町内他事業とのコラボ検討

(単位:千円)	R5	R6	R7
総事業費	5,106	5,409	—
補助金	3,328	3,532	—

事業を実施したことによる成果

- ・軽トラ市への出店者が昨年よりも増加し、①26店舗、②21店舗であった。来場者も①1,300名、②1,350名と、ともに増加した。
- ・軽トラ市ポイントラリーには「しもごろーカード」全加盟店(①96店舗、②89店舗)が参加し、賑わい創出に貢献した。
- ・ボーナスポイント獲得者は①191人71,450P②163人57,200Pであった
- ・次年度以降、大内宿の雪まつりでのコラボに向け協議を進めている。

今後の展望

- ・今後も軽トラ市を継続し、さらなるにぎわいづくりのため出店者の増加を図る。
- ・商店街等の機能低下を防ぐためにもポイントラリーを継続維持し、軽トラ市と連携して行っていく
- ・他事業者とのコラボにより、地域活性化の相乗効果を目指す。

〈第1回軽トラ市〉



〈第2回軽トラ市、ポイント交換の様子〉



【実施主体】 森林の里応援団(只見町)

森林の分校ふざわホームページ ▶ <https://www.fuzawa.org/>

事業の目的

人口減少・少子高齢化や交流人口の減少が課題となっている南会津地域の地域活性化を図るため、大学生と連携して、現地調査、先進地視察、ワークショップ等を通じた地域課題の掘り起こしや、その解決に向けた方策を検討する。

〈大学生グループによる現地調査・活動〉



〈裏大学生サミットの開催〉



令和6年度の事業内容

- 大学生グループによる現地調査・活動  
地域課題の研究に興味がある3団体に委託し、地域課題解決に向けた調査・活動を行った。
- 大学生サミットの開催(3月20日実施。10団体参加 ※招聘は10団体)  
大学生による調査の活動報告や地域振興に関する意見交換会を実施し、課題解決について検討した。
- 裏大学生サミットの開催(1月11-12日実施。5団体参加 ※招聘は10団体)  
サミットでの意見交換の地づくりや、只見町に関わっている学生の輪を広げることを目的に、只見町の魅力を理解できる内容の交流イベントを実施した。

(単位:千円)	R5	R6	R7
総事業費	2,324	2,658	—
補助金	1,620	1,903	—

事業を実施したことによる成果

- ・南会津地域では、大学生団体の活動は「点」で存在し、事業終了後は地域との関わりが失われてしまう事例が多かったが、「点」を結ぶことで、大学生と集落の有機的なつながりを生み、継続的な活動の必要性を再認識するとともに、関係人口の増が図られた。
- ・大学生団体同士の交流が盛んになり、団体が連携して地域での新しい活動を始められることができた。

今後の展望

- ・大学生サミットに代わる、学生団体や地域を巻き込むイベントや継続して地域で活動できる仕組みづくりを行っていく。

一般枠

## (5) 南会津の森林活用&リハビリテーションプログラム開発事業

新規

【実施主体】 南会津・森林とリハビリ協議会(南会津町)

### 事業の目的

南会津地域が有する豊かな森林資源を活かして、南会津町針生地区の森林内におけるリハビリテーションプログラムの検討・開発を行い、医療等の分野との連携による森林活用の可能性の提示および地域産業の創出を図る。

### 令和6年度の事業内容

- 森林空間におけるリハビリプログラムの先進地視察(長野県信濃町癒しの森)医療・森林関係者を対象としたリハビリプログラムの勉強会および検討会の実施  
リハビリやヨガの実施方法等について学び、当地域で実施できるリハビリプログラムについて検討を行った。
- ドローン等を用いた森林調査  
環境や地形を調査することで、地域の植生に適した伐採方法や管理方法を把握した。
- 除間伐の実施による森林空間整備

(単位:千円)	R6	R7	R8
総事業費	3,871	—	—
補助金	2,704	—	—

〈勉強会の様子〉



〈森林空間の整備〉



### 事業を実施したことによる成果

- ・医療関係者や視察先と協力することで、リハビリに適した森林空間を整備できた。
- ・勉強会等の実施により、地域の森林環境に適したリハビリプログラムを考案することができた。

### 今後の展望

- ・引き続き、森林の除間伐やウッドチップを敷く等を行い、リハビリに適した空間整備を行う。
- ・モニターツアーを実施することで、考案したリハビリプログラムの実践を行う。

一般枠

## (6) 里山滞在型リトリート事業

新規

【実施主体】 奥会津リトリートプロジェクト(南会津町)

奥会津チルトリートHP ▶ <https://okuaizu-chill-toretreat.notion.site/Chill-to-Retreat-fc438d321f37492ba1c04a5bc1b434a5>

### 事業の目的

南会津地域ならではの地域資源を活用した中長期滞在型のリトリートプログラムの構築により、関係人口・交流人口の創出や、将来的な移住・定住の促進を図る。また、滞在型プログラムの企画・体験ガイドなどについて、地域人材を育成および登用し、活躍の場を創出する。

### 令和6年度の事業内容

- 森林セラピーや里山資源活用について学ぶ人材育成セミナーへの参加
- 滞在プログラムの開発およびモニターツアーの実施  
7月、8月、2月の計3回実施。  
(7月参加者数:5名、8月参加者数:5名、2月参加者数:15名)
- プロモーションの実施  
5月に開催された商談会「国際ウェルネスツーリズムEXPO」に出展。

(単位:千円)	R6	R7	R8
総事業費	1,840	—	—
補助金	993	—	—

### 事業を実施したことによる成果

- ・セミナーやモニターツアーを通して、リトリートプログラムを企画、運営するためのノウハウを学んだ。
- ・商談会に出展することで、観光関係者に南会津地域や本事業をPRでき、認知度向上が図られた。

### 今後の展望

- ・次年度以降は、リトリートプログラムを拡大し、旅行商品として売り出す準備を進める。
- ・台湾で行われる商談会に参加し、海外へのプロモーションにも注力する。

〈モニターツアーの様子(7月)〉



〈モニターツアーの様子(8月)〉



一般枠

## (7) 自然資源を活用した地域創生事業(開墾再活性プロジェクト)

新規

【実施主体】 伊南青年会(南会津町)

### 事業の目的

南会津町伊南地域では、豊かな自然資源を活かした野外体験プログラムが行われていたが、人口流出・高齢化により継続困難となり、フィールドの環境も悪化している。当地域で生まれ育った青年層が主体となり、改めて環境整備や体験プログラムの造成を行うことで、関係・交流人口の増加および自然資源の保全・継承を図る。

### 令和6年度の事業内容

- 野外体験プログラム実施場所周辺の環境調査  
体験プログラム中の危険を避け、加えてプログラム内容考案の資料とするため、環境や地形を調査。
- プログラム実施のための環境および拠点の整備
- 実施可能なプログラムの検討(特に冬のプログラム)  
有識者との意見交換を行い、当地域ならではの自然体験プログラムを検討。

(単位:千円)	R6	R7	R8
総事業費	6,732	—	—
補助金	4,656	—	—

〈拠点建築の様子〉



〈完成した拠点〉



### 事業を実施したことによる成果

- ・体験プログラムの拠点となる山小屋を建築し、宿泊できるよう環境を整備した。
- ・有識者を交えてプログラムを検討することで、雪上SUPやツリーイング体験等の地域性を活かした体験内容を考案できた。

### 今後の展望

- ・次年度以降は、野外体験プログラムの実施体制を整え、モニター等を行う。
- ・先進地視察研修を実施し、ウィンタースポーツが盛んな地域の取組を学び、体験プログラムに反映する。

【実施主体】 南会津町

南会津町ホームページ ▶ <https://www.town.minamiaizu.lg.jp/>

## 事業の目的

都市間交流の衰退や、商工業・観光業の衰退が課題となっている南会津町において、令和8年(秋以降)開通予定の国道289号「八十里越」道路をテーマとしたツアーを実施することにより、都市間交流に向けた機運醸成や、事業者間の連携促進を図る。

## 令和6年度の事業内容

○プレツアーの実施(9月、10月に実施)

開通に向け、交流促進やリピーター獲得を目的に、南会津・新潟相互間のプレツアーを実施。

1回目 対象:南会津町民 20名参加(新潟県三条市の観光地訪問、工事現場見学)

2回目 対象:新潟方面の住民 2名参加(南会津郡内の観光地等を訪問)

(単位:千円)	R4	R5	R6
総事業費	977	1,494	1,644
補助金	781	1,195	1,225

〈工事現場見学の様子〉



〈新潟県三条市の観光地訪問の様子〉



## 事業を実施したことによる成果

- ・プレツアーの実施により、八十里越街道の開通に向けた南会津・新潟の地域住民の相互交流が図られ、都市間交流に向けた機運が高まった。
- ・新たに新潟県の事業者と協力し、新潟方面の住民をターゲットとしたプレツアーを実施したことにより、南会津地域の観光コンテンツ等の認知度向上および事業者間の連携が図られた。

## 今後の展望

- ・次年度以降は、実施したツアー結果を元に、今後の客層分析や新潟県側の旅行会社と連携を行い、開通後に利益を得られるツアーの磨き上げを進める。

## 【実施主体】 只見町

只見町ホームページ ▶ <https://www.town.tadami.lg.jp/>

## 事業の目的

只見町では、豊かな自然を軸とした誘客促進を目指しているが、自然を活かしたアクティビティのガイド不足及び高齢化が課題となっている。そこで、町内のアクティビティを周遊できるルートマップの作成や、ガイドの養成を実施することで、独自のツアー造成や誘客促進、ガイドの所得向上を目指す。

## 令和6年度の事業内容

- 日本レクリエーションカヌー協会(JRCA)の公認指導員検定会を実施し、8名がカヤックガイドの資格を取得(7月9日、10日)。またモンベル・アウトドア・チャレンジ(MOC)でモニターツアー募集を行い、6名が参加、お客様受入れのガイド実地練習を実施。
- サイクリングの講習会(7月23日、24日)に実施し、8名が参加。自転車でガイドするうえで必要なリスクマネジメントやツアー造成について学習。またMOCでモニターツアー募集を行い、9名が参加、お客様受入れのガイド実地練習を実施。

(単位:千円)	R5	R6	R7
総事業費	13,398	10,814	—
補助金	10,000	7,969	—

〈カヤックモニターツアー〉



〈サイクリングモニターツアー〉



## 事業を実施したことによる成果

・事業実施により、カヤックガイドのJRCA公認指導員の資格取得、各講習会の実施により、ガイド受け入れ体制の強化、ガイドのレベル上げに寄与し、モンベルと連携し町独自のツアー造成や誘客促進に繋がった。

## 今後の展望

次年度以降にJRCAの公認校への登録、カヤック・サイクリングのモニターツアーを実施は継続して行い、モンベルと連携し、商品としてのツアーを実施する予定。

【実施主体】 南会津町

南会津町ホームページ ▶ <https://www.town.minamiaizu.lg.jp/>

## 事業の目的

観光客数の減少が課題となっている南会津町において、地域資源を活用した「企業研修(企業の教育旅行)」を誘致することで、交流・関係人口の創出を図る。

また、将来的には企業研修に参加した企業と町内事業者の新たなつながりから、販路拡大や共同事業の開発等も視野に入れる。

## 令和6年度の事業内容

○ツアーの商品化

○南会津チームビルディングツーリズム推進協議会メンバーを対象とした勉強会等の開催、活動計画の策定

○体験メニュー造成(モニターツアーおよびアンケート調査)

10月29-31日実施、首都圏の研修会社等5名(4社)参加。ツアー内容はクラフトワークや調香ワークショップを実施。

○昨年度作成したポータルサイトの情報更新

(単位:千円)	R5	R6	R7
総事業費	9,700	8,169	—
補助金	7,759	6,085	—

〈クラフトワーク〉



〈調香ワークショップ〉



## 事業を実施したことによる成果

- ・モニターツアーやアンケート調査、聞き取り調査等により、交流人口創出に向け、企業ニーズに合致したツアー内容を造成できた。
- ・モニターツアーに参加した研修企業と町内事業者のつながりが生まれ、今後の新たな事業展開につなげた。

## 今後の展望

- ・令和8年度から本格的にツアーを販売するため、次年度も企業研修の商品化や協議会の自走化に向けた準備を進めていく。

【実施主体】 下郷町

下郷町ホームページ ▶ <https://www.town.shimogo.fukushima.jp/>

## 事業の目的

人口減少・生活スタイルの変化等で、人々のつながりや地域愛が希薄化しており、移住希望者についても町での生活するイメージができないという課題がある。そこで、町の魅力を体感でき、住民と移住希望者が交流できる場を創出することで、住んでよかったと思う住民を増やすだけでなく、移住促進や関係人口拡大を図る事で持続可能な地域を目指す。

## 令和6年度の事業内容

- 農業収穫体験(9/28) 参加者6名(町内1名、県外5名)
- キャンプ・星空鑑賞・バードウォッチ(11/2～3) 荒天予報のため中止
- 雪遊び・郷土料理作り体験(1/18～19) 参加者が集まらず中止

(単位:千円)	R6	R7	R8
総事業費	1,357	—	—
補助金	1,017	—	—

〈バター作り体験〉



〈りんご収穫体験〉



## 事業を実施したことによる成果

- ・収穫体験により、町内外の方に町の魅力を伝えることができた。
- ・参加者からクラインガルデン下郷(市民農園施設)への入居希望があり、関係人口の創出へ関与した。
- ・インフルエンサーの情報発信により、幅広い世代への効果的なPRができた。

## 今後の展望

- ・次年度もイベントを5回予定しており、田植えなどの農業体験や今年度実施できなかったバードウォッチ・星空鑑賞を実施予定。

【実施主体】 檜枝岐村

檜枝岐村ホームページ ▶ <https://www.vill.hinoemata.lg.jp/>

## 事業の目的

人口減少や尾瀬国立公園の入山者数は3年連続で増加しているが、令和5年度は過去4番目の低さであり、入山者の高齢化も一因。環境省が策定した「尾瀬ファンベース戦略」の方針に沿いながら、特にビギナー戦略に重点を置いてPR・受入体制整備の2軸で施策を展開し、村の基幹産業である観光業の維持に努める。

## 令和6年度の事業内容

- インバウンド誘客に向け、民間事業者とのワークショップ実施(6回)
- テレビ番組(7月20日)、高速バスラッピング(宇都宮-新宿間)による県内外へのPR
- 宿泊施設の空室状況や温泉施設の混雑状況を把握できるシステムを導入
- ウェブサイトコンテンツを拡充(観光スポット、観光レポート追加)

(単位:千円)	R6	R7	R8
総事業費	8,756	—	—
補助金	6,147	—	—

## 事業を実施したことによる成果

- ・ワークショップを行ったことで、インバウンド誘客の課題の共有に寄与した。
- ・とちぎテレビの番組や高速バスの走行により、県内外への効果的なPRができた。
- ・温泉施設のシステムを導入したことで、利用者の利便性向上が期待できる。
- ・ウェブサイトコンテンツの拡充により、更なるPRが期待できる。

## 今後の展望

- ・海外戦略を踏まえた受入体制の強化やPR活動を継続する

〈テレビロケの様子〉



〈ワークショップの様子〉



継続2

【実施主体】 布沢区(只見町)

事業の目的

人口減少と地域経済の衰退が課題になっている布沢区において、「地域資源加工所」及び地区農産物等を活用した「レストラン」の運営を行うことで、地域資源を活かした生業おこしを図る。加えて、山村の暮らしを体験できる施設を運営することで、移住人口の増加を図る。

令和6年度の事業内容

○「ふざわ食堂」の設備整備

集落への観光客や町民を対象に、地元食材を活かした「十割そば」の安定的提供を行うため、そば打ち機他設備を整備し、さらに質の高い調理が可能とし、運営体制を充実させる。

○「山里の暮らし体験の家 森林の学び舎」の運営

宇都宮大学生などが山村の暮らしを体験できる施設を運営し、体験プランを通して移住や二地域居城の増加に繋げる。

(単位:千円)	R5	R6	R7
総事業費	7,378	7,069	—
補助金	5,000	5,000	—

〈そば打ち機 坂東太郎〉



〈ふざわ食堂で提供しているそば等〉



事業を実施したことによる成果

- ・新たな生業を起こすことで、区民の生きがい及びやりがいを創出するほか、所得向上に寄与した。
- ・年越しそばとして集落内で生産した新そばを地域住民等に販売し、新たな地産地消の場の創生を実現した。
- ・宇都宮大学などが「山里の暮らし体験の家」を利用し、交流人口の拡大につなげた。

今後の展望

次年度以降も引き続き施設を運営していくほか、SNSなどでの事業広報などに力を入れ、さらなる事業の安定化を進める。また各施設の利活用促進のため、環境整備や充実を図る。

# (14)ヒツジ等で里山づくり&地域活性化事業

## 継続2

【実施主体】 只見里山づくり協議会(只見町)

Instagramアカウント▶「新国農園」@nikkuni\_farm

### 事業の目的

只見町只見地区では、只見線沿線に耕作放棄地が広がり、景観を損なっているという課題がある。その課題を解消するため、羊を用いた除草を行い、景観整備を実施するとともに、小学校と連携した動物のふれあい事業を実施し、児童の動物愛護精神の醸成に寄与する。

### 令和6年度の事業内容

- 羊3頭を用いた耕作放棄地の除草による景観整備  
只見線沿線や町内小学校付近等の耕作放棄地の除草を昨年度より範囲を広げ実施し、景観整備を行う。
- 児童の動物愛護精神の醸成と地域の交流の場の提供  
町内の保育園児や小学生などと動物がふれあう機会を設け、動物愛護の精神を育むほか、羊を目的に来訪する方へ交流の場を提供する。
- 羊の市域体制整備  
羊の餌等を保管する米穀小屋を建設し、羊の飼育体制を整える。

(単位:千円)	R5	R6	R7
総事業費	1,576	1,261	—
補助金	1,359	1,068	—

〈毛刈り、只見線イベント等〉



〈米穀小屋〉



### 事業を実施したことによる成果

- ・羊による農地等の除草で、只見線沿線の景観を美化し、またイベント等に羊が出演したことで観光誘客の促進、地域の活性化に寄与した。
- ・高齢化が進み、管理が行き届いていない農地等の草刈り作業を行い、地域住民の負担を軽減した。
- ・子ども達が羊とふれあう機会を設けたことで、動物愛護の精神を育んだほか、羊を目的に町内外から訪れる方が増え、交流の場を提供できた。

### 今後の展望

次年度以降も、除草範囲を拡大しながら羊による地域活性化を行っていく。また、羊グッズの作成及び販売を行い、餌代を確保して持続できる運営体制を整えていく。

## (15)体験型交流カフェ民泊で関係人口拡大&amp;地域活性化事業

新規

【実施主体】 三瓶 彰治 ひよこ家(屋号)(只見町)

## 事業の目的

JR只見線の沿線地帯かつ、今後国道289号八十里越道路が開通する場所であり交通量の増加が期待されているが、空き家の増加や観光客の拠点となる施設がないという課題がある只見町叶津地区において、空き家を活用し体験交流施設等として再生することで、交流人口の拡大や観光客の滞在時間を伸ばし、地域活性化を図る。

## 令和6年度の事業内容

○空き家を改修し、交流体験型カフェ及び民泊施設「ひよこ家」を整備

国道289号と国道252号が接し叶津番所の向かいに位置する空き家を、叶津番所や旧五十嵐家に来訪された方の休憩施設、体験交流施設、コワーキングスペース、滞在宿泊施設、そして只見線関連観光客の休憩所として整備し、集落の活性化と交流人口・関係人口・移住定住人口への流れに繋げる。

(単位:千円)	R6	R7	R8
総事業費	3,421	—	—
補助金	3,000	—	—

〈ひよこ家外観 改修前〉



〈ひよこ家外観 改修後〉



## 事業を実施したことによる成果

- ・叶津番所(旧長谷部家)や旧五十嵐家などの史跡がある八十里街道沿いの叶津に交流体験型カフェ「ひよこ家」をオープンすることができた。
- ・三条市の交流事業(八十里踏破)のゴールの休憩所としても活用されたなど、集落の交流拠点となり、集落の活性化や交流人口増加に寄与した。

## 今後の展望

- ・二年後の八十里全面開通にあたり、江戸時代の玄関口だった叶津がまた玄関口になる。
- ・カフェのほか民泊施設としても「ひよこ家」を運営できるよう、必要な施設整備や手続きを進める。

